令和８年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

羽曳野市立羽曳が丘小学校

■この調査は

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は

対象が小６と中３、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3 年に 1 度の調査となります。）

1　調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

・国語は大阪府と同程度の平均正答率でしたが、全国の平均正答率は、やや下回っています。

・算数は、大阪府・全国とも平均正答率を下回っています。

・国語では、「知識・技能」の内容においては正答率が高い傾向があります。特に漢字を正しく書く問題は全国平均よりも大きく上回っています。一方、「思考・判断・表現」の内容においては正答率が低く、「文章を読んで考えたことをまとめて書く」ことに課題がみられます。

・算数では、「測定」の領域に定着がみられます。特に立方体の体積を求める問題など、公式の適用や基礎的な測定概念は高い正答率です。また、「図形」や「データの活用」領域では空間把握を要する問題や複数の資料から情報を整理する問題に課題が見られます。

■質問調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

○国語の勉強が好きの肯定的回答が 66.4%（大阪府：56.4%　全国：57.0%）、算数の勉強が好きの肯定的回答が 66.4%（大阪府：56.1%　全国：57.6%）と、どちらも高い傾向となっています。

○学校を肯定的に捉える児童の割合が多く、「学校に行くのは楽しい」の肯定的回答は 62.3%で全国平均よりも 14.3 ポイント高い。「友だち関係に満足している」の肯定的回答は 94.3%で、全国平均よりも 3.2 ポイント高い結果となりました。友だち関係での満足感の高さが「学校に行くのは楽しい」につながっていると考えられます。

○毎日の朝読や図書館司書のよる読書週間の取り組みなどで、「読書」に関するアンケート項目では、読む時間や学校図書館を利用して貸し借りする割合も高い評価となっています。

・課題となる項目

○問題解決的な学習に対して、「自分の考えを工夫して発表する」ことに肯定的な回答が府や全国を若干下回っています。

○ICT 機器を活用してプレゼンテーションなどで発表することに自信をもっている児童は多いですが

情報収集や情報整理して活用することに自信がない傾向があります。

■児童質問紙と学力調査結果とのクロス集計結果からみえる本校の子どもたちの姿

・正答率と特に強い相関関係があるという結果があらわれている項目

○「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。

○「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。

○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。

2　これからの取組みについて

■学校で取り組んでいくこと

・校内研究テーマである「言語活動を大切にした授業」に取り組んで５年目となり、自分の意見を考え、相手に伝わるように工夫して発表する機会を今後も設けていきます。また、算数でも言語活動、特に自分の考え方を説明する授業を取り入れていきます。

・国語では「書く」ことを意識して全学年で取り組んでいますが、複数の条件を満たして文章を書くなど条件を加えながら書く指導をしていきます。

・算数では、「情報を整理する」ことに自信がない児童が多いことから、タブレット端末の思考ツールや（図や表の作成）を活用し、考えを整理する経験を取り入れていきます。

・国語・算数とも意欲の高い児童が多いことを活かし、ペアやグループで説明し合う場面を意図的に増やします。また、ポジティブ行動支援を意識して、安心して意見が言えるような雰囲気づくりをしていきます。

・3～6 年生では、国語と算数の授業交換を実施して 2 年目となります。教員間での情報共有を意識して、多くの教員が児童と関われるような取組みを進め、学校のどの先生でも相談できるようにしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

・引き続き、ゲームやテレビ、スマートフォン等の使用に関わる家庭ルールを決めてください。また、定期的に決めたルールについて家庭での話し合いをお願いします。

・家での時間の使い方（朝食の摂取、睡眠時間の確保、家庭での読書や学習など）については、時々話題にすることでお子さまの意識づけにもなっていきます。心も身体も健康でいられるよう、ご協力をよろしくお願いします。

・3 年生以上においては、自主学習ノートの取り組みを進めています。家庭においても励ましの声かけなどをお願いします。